

反日感情

反日感情を顕にした中国人の行為から  
日中関係修復の必要性を強く感じたい

7~8月に行われたサッカーアジアカップでは中国サポーターの激しい罵声と暴力騒ぎが外交問題にまで発展してしまった。これによって我々日本人は今年の終戦記念日の直前に、中国が日本に対していかなる感情を持っているか、そしてその原因は何かを考えさせられた。折しも当時、筆者は本誌「京都CF!」別冊「京都ブランドVol.6」の取材で奔走中。老舗の喫茶店で戦後の京都の話をお聞かせいただいたり、珈琲の歴史を調べているうちにペルーやブラジルに渡った日本人の話に辿り着いた。印象的だったのは、とある喫茶店でみかけた昔のコーヒー広告。「遠い異国から味分かる同胞に贈る珈琲」という意味の謳い文句とともに世界地図が描かれていて、ブラジルと日本列島、そして朝鮮半島、中国の一部が赤く塗りつぶされていた。戦争は過去ではあるが、たかが60年ぐらゐ昔の痕跡はいまだ色褪せていない。中国のスポーツ精神欠如云々に対して目くじらを立てる事に終始するのではなく、我々から中国に歩み寄り、良好な関係の構築に腐心したい。

一番新しい日本の一ページ

# いまだどきの歴史

疑惑の温泉

全国にまたがるインチキ温泉騒動が  
京都の温泉シーズン到来に水を差す

## 恥ずかしいのは誰?



酔っぱらって  
女湯に入っちゃったオシサン

陰毛入浴剤を  
注ぐ女将

露天風呂に  
つかって女性

長野県白骨温泉の一部の旅館が湯に入浴剤を入れていたにもかかわらず天然温泉を謳っていたため、捜査のメスが入った。これを受けて、環境省の調査に先駆けて全国の自治体が各自温泉の調査に乗り出した。京都府も府下の温泉施設200ヶ所の聞き取り調査を開始。不正表示や入浴剤使用の有無を確認することとなった。京都の温泉といえば、亀岡・湯の花温泉が昔から有名だし、最近では嵐山と大原に温泉が出たばかり。いよいよこれからという時期に足もとをすくわれた形となった。見知らぬ人とともに湯船に肩を沈めて、文字通り「裸のつき合い」の場となる温泉は、日本のかけがえない文化。筆者も360度パノラマの露天風呂や、混浴風呂の「ちょっと恥ずかしい」気分も大好きだ。しかし、今回の温泉での不正は「ちょっと恥ずかしい」どころか、まったくもって「恥知らず」。自然の恩恵の上に成り立つ商売なのだから、もっと正直で真摯な姿勢を心がけて欲しいもんだ。

## 日中の親善大使にこの人を



タネ仕掛け  
ちよとあるコ

ワタシ中国は  
広島生まれ

タレント評議員

## 若者の立場で学校運営に物申す!! オセロ中島さんが学校評議員に

本誌にも度々ご登場いただいたお笑いタレント「オセロ」の中島知子さんが、出身校である洛東高校の評議員に就任した。評議員は校長によって選ばれるもので、学校行事や会議などを通じて学校運営への意見を述べるもの。国が進める「開かれた学校づくり」の一環だ。評議員は教員や保護者などの当事者とは違い、一般の立場から客観的な意見が期待されている。これからどんな実績を残すかは分からないが、「後輩の皆さんの学校生活を充実できるよう頑張ります」と、中島さん。任期は来年の3月まで。芸能人が学校評議員に就任するのは初めてだが、有名人を評議員に抜擢することで、学生の関心を集められるし(中島さんの評議員就任をしっかりとアナウンスしたら、だが…)、実績次第では他校でも同様の評議員が登場することが考えられる。「タレント議員」ならぬ「タレント評議員」と揶揄されないよう、中島さんには先駆者として確かな実績を残して頂きたい。



ウォッチンングケアフリーコーナーの  
常連さんでした

数年前は本誌の



文◎大塚 祐希  
京都で活動するライター集団・大塚祐希事務所CEO。昨年のイスラエル滞在以来、異文化を紹介するTEXTREAM PROJECTを始動。20カ国に及ぶ人々とネットワークを構築し、ボーダレスな活躍を目指す。  
HP●<http://www1.ocn.ne.jp/tsukapon/>



イラスト◎両口 和史  
1967年京都市生まれ。京都精華大学美術学部卒業。北山のオフィスにて様々なキャラクターやイラスト制作をおこなうユニット「キャトル・イラストレーション」のチーフ。猫、フランス車、家具、雑貨、レコード、本、おもちゃ、平日の公園。それらがイラストを構成するエッセンスである。HP●<http://www.d1.dion.ne.jp/ryoguchi>